

アシストコンサルティング / 江尻幸雄からの『2分で読切りニュースレター』

このニュースレターは名刺を交換させて頂いた方へお送りしています。不要な場合はご一報いただくか、空メールを返信頂ければ次回より停止いたします。この記事がご参考になれば幸いです。

今回のテーマは、、、『 QOWLバランスが変える仕事の価値観と創業 』です

最近、秋口開催の「創業塾」の告知がHPやSNSを通じて流れるようになってきました。私も何度か「創業塾」のメインインストラクターとして創業に関わってきましたが、创业者の取組み意識も大きく変わってきたと感じます。今回は創業を切り口に、仕事への価値観の変化について考えてみたいと思います。

● 創業も質の変化が明確に？ = 量から質への転換 =

私たちは、1973年頃までの高度経済成長、86-91年頃のバブル景気とその崩壊、さらに08年のリーマンショックと様々な経験を積んできました。時代時代に応じて“仕事の価値観”も変化しています。例えば某飲料のCMのキャッチコピー「24時間戦えますか」が、最近では「3,4時間、戦えますか」にスケールダウン(?)しています。その時代の紆余曲折を経て30年と言う時間をかけて社会の価値観、仕事への価値観が大きく変わって来たことを実感できますね。また創業について目をやると、高止まりした失業対策の一環として始まった創業塾は開業者数の増加と言う点では効果を出しました。

景気が良くなると非自発的の失業者が減り、結果として独立開業を目指す人が減るのも自然な流れと推測できます。しかし今年6月時点で完全失業者数が85ヶ月連続減少したのですが、企業の開業数が減ったのかと見ると、設立登記数はここ数年では年間9万~10万社(データ出所:国税庁「国税庁統計年報書」)で大きな変動はありません。

必ずしも「開業数の増減←景気の動向」と言う簡単な関係ではなさそうです。ここに創業への質的变化が垣間見えます。



データ出所:総務省統計局「労働力調査 長期時系列データ」を加工

● QOL →QWL→ QOWL が与えた仕事の価値観 = 価値観の充実が大切 =

実際「やりたいことをやりたいから創業する」と言うように、創業だけでなく仕事においても“仕事を通じた満足のいく生活スタイルの実現”の方向に価値観が変化しています。

創業を目指す方は、その価値観の実現手段として創業を選択しただけで、創業ありきではありません。選択する手段は、また別問題です。転職であっても、創業であっても、そこに芯となるものがあれば成功に結びつきます。この点を誤ると数字の増加に結びつくだけの創業が増加し、短命で事業が停止してしまいます。

その考え方のベースは“QWL(Quality Of Working Life :労働生活の質)”にあります。そのまま「労働生活の質」では少し分かり辛いので私は“QOWL(仕事と生活の質)”と読み替えて使っています。

さて文面も残り少なくなってきましたので、まとめです。仕事とは、生活の糧を得る手段であり、かつ人生の中で重要なテーマです。そして仕事と生活は“トレードオフ”のような関係として、「一方が増えればもう一方が減る」と言うイメージで語られますが、どちらかを犠牲にするのではなく、“仕事を担うこと”と“生きること”のQOWLバランスを保ちつつ、いずれもを満足させると言う視点が重要です。それは組織パフォーマンスの発展(組織開発)につながります。

私達は QOWL バランスの実現のため「組織開発【OD】」に取り組んでいます。

OD についての続きは SMSO の HP をご参照ください。最後までお読み頂きありがとうございました。

アシストコンサルティング 代表 江尻幸雄 中小企業診断士 / 上級シニア / 認定経営革新等支援機関  
【 組織開発コンサルタント: 組織活性化を通じ、良質な売上の確保を! 】